

B5用紙

(個人)

(報告 田 中)

山(山域・ルート) 御 嶽 山

【日時】23年 7月26日(火)～ 7月27日(水)(1泊 2日)

【メンバー】

田 中 (計 1 名)

【行動記録】

前夜自宅 22 時発一川越 I. C (上越、圏央道、中央道、19号線他)一田の原登山口(5:17)一王滝頂上(7:36)一奥の院一剣ヶ峰(9:23)一二ノ池一田の原P(12:06)  
上り 4時間 下り 2時間30分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツェルト

水(1.5リットル)、食事(昼食)、行動食

【感想】

おんたけスキー場に3時半に着き仮眠した。途中、狸や猪の子をライトの光の中に発見した。子猪は車の前をしばらく疾走した。漫画に出てくるようなかわいい姿に愛着を感じた。田の原の鳥居をくぐると一本道である。白装束の登山者がかなりの割合を占める。天気は晴れ間も見られたがガスが常に流れていた。乗鞍岳や中央アルプスが雲海の上に顔を出している。8合目、9合目石室を経て、王滝から剣ヶ峰に向かうところを、奥の院に寄り道をしたため間違っただけでまた9合目にもどってしまい、上り返しになってしまった。余分な時間の経過の中で、天気は好転してきた。剣ヶ峰山頂からは、遠望は叶わなかったが継母岳、二ノ池、三ノ池、継子岳などよく見ることができた。

2日目の恵那山は、広河原の駐車場には1台の車もなかった。雨が激しく、雷も鳴りっぱなしで、熊出没の看板もあった。おまけに登ってくる車道の途中からここから先は責任が持てないと書かれた標示があり、下山後の道も通れるかどうか心配になった。次回の参考に、車の通行不能となっている林道を、登山口まで往復1時間歩いて、恵那山登山を中止にした。

